



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度 RI会長／ジョン・ジャーム

RI.D2590ガバナー／高良 明

横浜旭RC会長／青木 邦弘

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2後藤ビル2F／〒241-0821

TEL.045-365-3273／FAX.045-365-3132

E-mail:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋 3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



旭区民まつりにて宮城復興米販売



第5回チャリティーコンサート



被災地子ども達にクリスマスプレゼント

2017年5月10日 第2288回例会 VOL. 48 No. 39

■司 会 SAA 安藤 公一

■開会点鐘 会 長 青木 邦弘

■齊 唱 手に手つないで

■出席報告

会員数	30名	本日の出席数	26名
本日の出席率	92.86%	修正出席率	91.3%

■本日の欠席者

安藤公一、鈴木

■他クラブ出席者

斉藤（横浜保土ヶ谷RC）、二宮登（川崎RC）

■ゲスト

沈 佳穎様（米山奨学生）

柿沼 千尋様

（横浜市子ども青少年局企画調整課企画調整係長）

浦崎 真仁様（旭区役所子ども家庭支援課）

■5月誕生記念祝



太田 勝典会員

5.27

■会長報告

○地区関係

1) IM 実行委員長より、本年度統合 IM として開催いたしましたロータリー経営大講演会は、多数のご参加を得て盛況裏に終了しました。当日はクラブ事務員の派遣も頂き有難うございました、とのお礼状が届きました。

○クラブ関係

1) 吉野会員が5月2日逝去されました。

吉野さんは1979年（昭和54年）1月に入会、14代会長、そしてガバナー補佐も歴任され、ロータリー大好き人でもありました。米山奨学金には熱心でクラブ一番の寄付者です。

斎藤善孝さんが会長の時、出席委員長に例会を休んだら、吉野さんからその日のうちに連絡があり、他クラブの例会日を伝え、何時どのクラブへメーキャップに行くか確認されるほどでした。それから出席率100%が続きました。

皆様には吉野さんの思い出は沢山あると思います。謹んでご冥福をお祈りいたします。

2) 次年度の年会費につきまして、例会場変更と事務所移転により、年間約250万円が節約されます。1人当たり約8万円の節約となりますが、50周年事業積立問題があり、次期会費は26万円とし、50周年以後会費の見直しをしますとの理事会決定でした。

年会費につきまして、皆様のご意見をお聞

きし、この場で決定したいと思います。賛同の皆様は拍手をお願いします。

3) 5月24日の大相撲見学、岩沼ロータリークラブより、渡邊真多直前会長、松尾さん、国井さん、小野照代さん、太宰氏、南館さんの6人が例会から参加されます。翌日は皆様予定があり、新幹線でご帰宅されます。お茶屋さんで食事をして解散したら、とっております。お茶屋さんの食事はお一人5,000円ぐらいだと思います。

4) ガンセミナーの時の募金領収書3万円を持参いただくことにしました。

5) 事務所移転を始めます。5月14・21・28日の午後1時から始めます。29日電話、コピー機の移転を行います。参加をお願いします。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜田園ロータリークラブ

日時 5月30日(火)→31日(水)

点鐘 午後6時30分

2クラブ合同例会(横浜緑、田園)

場所 菜香新館

日時 6月13日(火)最終移動夜間例会

点鐘 午後6時

場所 熱海温泉湯宿 みかんの木

日時 6月27日(火)青葉台中学校講演会

午後2時30分～3時30分

場所 青葉台中学校

2) 当、旭RCの予定

・5月24日(水)クラブ協議会

各委員会は今期の発表の準備をお願い致します。

・5月31日(水)の例会

外部卓話の為、通常通り昼の例会

■川崎踏切事故について 本山 雄三

先日の事故について少し触れさせて頂きたいと思います。事故の件に付きましては社内的に公に伝わってくるものはなく、私の知り得る処はニュースの報道と知人関係で伝わってくるものです。

今改めてどんな事故だったのかお話をさせて頂きますと、防犯カメラによりますと、踏切に入って立ち止まっている高齢者に本人が声を掛け、高齢者を引き戻そうと踏切に入ったわずか2秒後に事故が起きたということです。児玉さんは、横浜銀行に勤務をしていて、

人材部に勤務しておりました。人材部で何をしていたかと申しますと、当行の出向者のお世話をする部署で、彼はその部署の適任者でした。その部署で人のお世話をするという事は、個人の人生のお世話役でもあるし、受入をしていただく会社さんとのパイプ役でもあります。普段の銀行業務とは違い、それなりの人格が備わっているということです。

この児玉さんとは私はプライベートでも親交があり、いっしょに遊んでいた仲間です。そういった事から、私自身もこの事故についてまだ気持ちが定まっておられません。自分だったらどうするか、つくづく考えさせられるところです。これは高齢者の社会問題等いろいろな面で単純な話ではない様な気がしています。まだ、事故から日が浅く、これから仲間と話し合いながら、少しずつ気持ちの整理をしていくことになると思います。とりとめのない話となってしまうかもしれませんがご了承願います。

■奨学生紹介

沈 佳穎



こんにちは、米山奨学生の沈 佳穎です。中国上海から参りました沈 佳穎と申します。

現在専修大学三年生、歴史学科の考古学を勉強しております。日本に来たのが4年前の17歳で、転校生として日本の高校に入って勉強していました。

趣味は歌を歌うことで、今歌手として活動しております。実は5月20日に池袋ジャズフェスティバルに出演させていただきます。また登山が好きで、バイク乗れないけどバイクも大好きです。この二年間、どうぞよろしくお願い致します

■ニコニコBOX (会員敬称略)

青木 邦弘/①横浜市こども青少年局柿沼様、旭区こども支援課浦崎様、今日はよろしく申し上げます。②沈さんようこそ。③大川さんの紹介でがんセンターで胃の検査をしました。

原因はただの不摂生でした！胃薬2週間分いただきました。

北澤 正浩／①横浜市子ども青少年局、柿沼様、旭区役所子ども家庭支援課、浦崎様、横浜旭ロータリークラブによろそいらいしゃいました。卓話よろしくお願ひ致します。②沈さん、よろそ。

五十嵐 正／旭区子ども家庭支援課の浦崎様、横浜市子ども青少年局の柿沼様、本日は子どもの貧困問題の卓話、宜しくお願ひ致します。

市川 慎二／横浜市子ども青少年局、柿沼さま、本日はお忙しい中お越し頂き有難うございます。卓話宜しくお願ひ致します。浦崎さん、いつも有難うございます。

倉本 宏昭／①柿沼様、本日はお忙しい処、よろそおいで下さいました。卓話よろしくお願ひ致します。②沈さん、よろそ。

吉原 則光／柿沼様、ご多用のところ卓話いただき有り難うございます。よろしくお願ひ致します。

後藤 英則／①米山奨学生、沈さんよろそ。②柿沼様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

大川 伸一／柿沼様、よろそ。卓話をよろしくお願ひ致します。

田川 富男／①いつでも子どもは大切です。柿沼さん、卓話宜しくお願ひ致します。②次年度幹事になります。滝澤年度をよろしくお願ひ致します。

岡田 清七／柿沼さん、本日は卓話を有難うございます。

兵藤 哲夫／目黒恵一さんが新年度から入会の意志が固まりました。後は理事会の審査と皆様方の承認が必要です。よろしくお願ひ致します！

太田 勝典／①米山奨学生沈さんよろそ。②柿沼様、卓話ご苦労様です。③誕生日祝いをいただき、有難うございます。

内田 敏／①横浜市子ども青少年局企画調整課柿沼様、旭区役所子ども家庭支援課浦崎様、よろそ。②米山奨学生沈さんよろそ。③妻の誕生祝いに、きれいな花を頂き有り難うございます。

本山 雄三／妻への誕生日プレゼント、ありがとうございます。いただいたアジサイは大事に育てていきます。

■卓話「横浜市の子どもの貧困対策について」

横浜市子ども青少年局 柿沼千尋様



本日はよろしくお願ひ致します。

いま「6人に1人」という形で全国で社会問題となっている「子どもの貧困」とは、食べられない、住む場所がない、着ていく服がないということではなくて、最低限の生活はあるかもしれないけれど、将来子どもの自立とか、子どもが独り立ちするまでの必要な環境を整えるまでの所得がない人たち、というところまで「子どもの貧困対策」の対象であると考えております。

○横浜市における子どもの貧困の実態把握の方法

- ・本市における子どもたちの貧困の実態を把握するために、0歳から24歳未満の子ども、若者のいる6,000世帯を対象とする市民アンケート（以下、市民アンケート）、生活保護や児童扶養手当を受給している世帯等に対する対象者アンケート（以下、対象者アンケート）、日頃から困難を抱える子どもや家庭への支援に関わっている計17の関係機関・団体等に対する支援者ヒアリング（以下、支援者ヒアリング）を実施しました。横浜市における子どもの貧困に関する状況は以下のようになっております。

○貧困線を下回る世帯で生活する子どもについて

- ・家族一人あたりの可処分所得が、国の中央値の半分（貧困線）に満足ない世帯で暮らす子どもの割合を、子どもの貧困率といいます。
- ・市民アンケートにより得られたデータを用いて、本市において国の貧困線（平成25年国民生活基礎調査）を下回る水準（二人世帯では年収173万円位、三人世帯で230万円位）で生活する子どもの割合を算出したとこ

る7.7%となり、およそ44,000人と推計されました。また、本市に暮らす一人親世帯のおよそ半分が国の貧困線を下回る水準で生活している状況にあると推計されました。本市の特に一人親世帯の状況は、厳しい水準にあると言えます。

・現在の暮らしの状況に対する認識について「大変苦しい」と回答した割合は、市民アンケート全体が5.8%であるのに対して、一人親世帯では17.5%、貧困線以下の世帯で20.9%となっています。また、対象者アンケートの結果では、その割合は27.4%となっています。

・過去一年で必要とする食料を買えないことがあった割合は、市民アンケート全体では4.6%でしたが、一人親世帯では16.6%、貧困線以下の世帯では19.0%となっています。

過去一年で必要とする文具や教材を買えないことがあった割合は、市民アンケート全体で4.7%でしたが、一人親世帯では19.2%、貧困線以下の世帯では21.6%となっています。

○経済的困窮等、特に困難を抱えやすい子ども、世帯について

国の大綱では、子どもの貧困対策によって「優先的に施策を講じるよう配慮する必要がある」「支援を要する緊急度の高い子ども」として、社会的養護を必要とする子ども、生活保護受給世帯の子ども、一人親世帯の子どもが示されています。

・社会的養護を必要とする子ども、保護者のいない子どもや、虐待を受けた子どもなど、家庭で生活することが困難で、本市で社会的養護を受ける（乳児院や児童養護施設に入所している子ども、里親等に委託されている）子どもは、平成26年度末現在で880人となっており、本市の18歳未満の子どものおよそ0.15%となっています。

本市の児童虐待新規把握件数は増加傾向にあり、平成26年度の1年間で1,000件を超えています。児童虐待として把握されたうちの2割程度が社会的養護のもとで暮らしています。

・生活保護世帯の子ども：

本市で生活保護を受給する世帯の18歳未満の子ども数は増加傾向にあり、平成26年7月現在で約1万人、18歳未満の約2%となっています。生活保護を受給する母子世帯数に

ついても、過去20年間で約3.7倍に増加し、平成26年度末で約4,000世帯となっています。

・一人親世帯の子ども：

本市で児童扶養手当を受給する子どもの数は、平成25年で31,000人となっており、18歳未満の子どものおよそ5%となっています。

○子ども、家庭の課題と子どもの貧困

・保護者が自身の親や配偶者等から虐待や暴力を受けていたことなどから、親族等に頼れない状況の方も多いため指摘されています。

このような方の中には、支援者との関係性を含めて、人とのつながりを自ら断ち切ってしまう、保護者が「社会的孤立」状況となり、子どもへの支援が届かなくなるという事例もあるとされています。

・児童相談所が児童虐待等で関わる家庭の中に、経済的困窮の課題を抱える例が多いことが指摘されています。

具体的な例として、身体的虐待のほか、適切な食事を与えていない、学校等への登校がままならない、乳幼児を家に残したまま度々外出するなどのネグレクトの状況にある世帯への対応が増えているとされています。

・市民アンケートの6～17歳の子どもについて、学校等の勉強全般の状況が「かなり遅れている」または「やや遅れている」と回答した割合は、市民アンケート全体では9.7%であったのに対して、一人親世帯では24.2%、貧困線以下の世帯では26.4%となっています。

・市民アンケートの宛名の子ども、若者のうち「過去に不登校経験あり」あるいは「現在不登校中」と回答した割合は、全体では3.8%、一人親世帯では9.6%、貧困線以下の世帯では10.8%となっています。

・経済的な理由により子どもに進学を諦めさせたり、学校を中退させたりしたことがあるかについて

「ある」あるいは「これまでにはないが、今後その可能性がある」を合わせた割合は、市民アンケート全体では20.7%であったのに対して、一人親世帯では56.5%、貧困線以下の世帯では49.6%となっています。

○本市の調査結果をもとに、子どもの貧困の背景に存在する、子どもと家庭が抱える多様な困難な状況を整理したところ、保護者が抱

える困難が、子どもの育ちに影響を与え、困難状況が親から子へ引き継がれる「世代間連鎖」が存在することが示唆されました。

直接的な経済的困窮対策だけでなく、子どもが抱えるこれらの困難についても、世代間連鎖を断つという視点が必要です。

○経済的困窮を抱える世帯。求める子どもへの支援

・経済的困窮を抱える保護者に子どもに関する悩みについてたずねたところ、6割が「子どもの教育費のことが心配である」、5割超が「子どもの進学や受験のことが心配である」と回答しています。

・対象者アンケートで、子どもにとってあったらよいと思う支援等についてたずねたところ、6割以上が「生活や就学のための経済的補助」を挙げています。また、「低い家賃で住めるところ（寮や下宿のような所）」について3割以上が回答しており、経済的な面での支援が求められています。

○まとめ

「子どもの貧困」とは経済的困窮状態であることにより、子どもが健やかに育ち、自立していく環境が損なわれている状況で、家庭や本人の努力だけでは改善することが困難となっている状況となります。

この後の対策として、子どもの未来応援国民運動におけるマッチングについては、国の方でも子どもの貧困問題を社会全体で取り組んで行こうと動いております。国民運動が目指すものとして、NPO等の団体・自治体・企業の3者が連携して、社会全体で子どもの育ちを支えて行こうというものです。

全国でNPOに限らず、子どもの為に活動している団体はかなり沢山あります。

一番分かりやすい例も申しますと、「こども食堂」があげられます。子ども一人でも来られて、低価格で食べられ、地域の人たちと触れ合える場として提供されている所ですが、横浜市内でもかなり増えてきています。こども食堂を運営している方たちの話を聞きますと、要望として、今後連携していきたい機関として、民間企業・経営者団体という要望が多く寄せられております。

子どもの貧困対策で何か出来ないかと問われますと、やり方としては二つあると思いま

す。

一つは直接的支援メニューを用意する。例えば奨学金制度。子ども達に就労の体験機会を与えたり、実際の就職先になっていただくというようなものです。

もう一つは、今子ども支援に取り組んでいる団体に支援するという事で、間接的に子どもたちを支えていくというものです。先ほど申しましたマッチングで社会全体で子どもを支えるというものです。

そこでマッチング運動の課題として現場で悩んでいる事として、例えば、①最近よく聞く「子ども食堂」って、何か手伝いたいけど、どこにあるのだろう、どういう手伝いが望まれているのだろう？②貧しい子どもたちが増えているらしいので、うちの商品を提供したいんだけど、どこへ提供すると言えばいいのだろうか？③小さなNPOなので大企業に支援は頼みにくい。どうすれば欲しい支援の内容を伝えられるだろう。④食材がたくさん贈られてくるけど保管場所がない。他の団体にもお裾分けしたいけどどうしよう。等が寄せられてきております。

これに対して国としてどんな事をやっていくかというと、国は大きく三つの事をやろうとしております。

一つはマッチング協議会を立ち上げ、支援をしてくださる企業団体と、NPOと繋ぐような活動をしております。二つ目はマッチングフォーラムといいまして、イベントをやって実際に企業とNPOとの交流を進める場所の提供をしております。三つ目はウェブサイト上で、企業とNPOを結ぶという事をやっております。

この中のマッチングネットワーク推進協議会をこの4月から始めております。これは、全国子どもの貧困・教育支援団体協議会。全国フードバンク推進協議会。こども食堂ネットワークという全国規模の組織が事務局となって、企業等の支援協力の要請に対して、団体の紹介とか要望を企業側に情報提供をしたりする仕組みが始まっております。

本日はありがとうございました。

■次週の卓話

5/17(水)第5回クラブ協議会

週報担当 吉原 則光

2017～18年度 横浜旭RC組織表

会 長 滝澤 亮	S A A 五十嵐 正	理 事 市川 慎二
会長エレクト 市川 慎二	副 S A A 後藤 英則	理 事 北澤 正浩
副 会 長 佐藤 真吾	副 S A A 北澤 正浩	理 事 増田嘉一郎
幹 事 田川 富男	理 事 滝澤 亮	理 事 新川 尚
副 幹 事 安藤 公一	理 事 青木 邦弘	理 事 佐藤 真吾
会 計 安藤 公一	理 事 後藤 英則	理 事 田川 富男

会計監査 倉本 宏昭

委 員 会	委 員 長	副委員長	委 員				
ク ラ ブ 奉 仕	出 席	佐藤 真吾	市川 慎二				
	親 睦	大川 伸一	北澤 正浩	安藤 公一	本山 雄三	佐藤 真吾	
		後藤 英則	田川 富男	五十嵐 正	太田 幸治	佐藤 利明	今野 丁三
				倉本 宏昭	福村 正	二宮麻理子	
	会 報	本山 雄三	吉原 則光	青木 邦弘	岡田 清七	大川 伸一	
	雑誌・研修・広報	齋藤 善孝	増田嘉一郎	安藤 公一	内田 敏	新川 尚	
	増強・分類	内田 敏	関口 友宏	太田 勝典	後藤 英則	齋藤 善孝	
	選 考	吉原 則光	内田 敏	関口 友宏	二宮 登	安藤 達雄	
プログラム	市川 慎二	安藤 公一					
奉 仕 委 員 会	社会奉仕	北澤 正浩	二宮麻理子	五十嵐 正	新川 尚	福村 正	
	職業奉仕	増田嘉一郎	佐藤 真吾	福村 正	本山 雄三	大川 伸一	
	青少年奉仕	新川 尚	五十嵐 正	青木 邦弘	太田 勝典		
	国際奉仕	青木 邦弘	齋藤 善孝	二宮麻理子			
ロータリー財団	田川 富男	新川 尚	兵藤 哲夫				
米山記念奨学	二宮麻理子	太田 勝典	後藤 英則				
災 害 対 策	安藤 公一	増田嘉一郎	五十嵐 正	市川 慎二	内田 敏	北澤 正浩	
			関口 友宏	新川 尚	矢田 昭一	太田 幸治	
			岡田 清七	佐藤 利明			
チャリコン部会	福村 正	新川 尚	安藤 公一	市川 慎二	佐藤 真吾		